

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	スポーツ実習Ⅱ(柔道①)	1	三宅 仁	
平成25年度以前	スポーツ実習Ⅱ	1		
教職				教職
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 柔道は、オリンピック種目として世界中の人々に親しまれている。この授業では、柔道が日本古来の武道として世界に広がった歴史を理解する。また、技術体系や技術構造を理解し、危険のない基本動作・对人的技能を習得する。さらに、試合の実施を目標とする。				言語 共通
<b>授業の概要</b> まとめの段階では、模擬試合を運営し、習得した技術の確認や審判技術を習得する。警察官志望者においては、講道館柔道の段位取得を目指す。				専門基礎
<b>授業計画</b> 第1回：ガイダンス(授業計画、テストおよび評価方法、受講態度の説明) 第2回：柔道の歴史と理念 第3回：基本動作Ⅰ 第4回：基本動作Ⅱ 第5回：对人的技能Ⅰ(投技・膝車) 第6回：对人的技能Ⅱ(投技・体落し) 第7回：对人的技能Ⅲ(投技・大内刈) 第8回：对人的技能Ⅳ(固技・抑技) 第9回：約束練習(投技) 第10回：約束練習(固技) 第11回：自由練習Ⅰ(投技・固技) 第12回：自由練習Ⅱ(投技・固技) 第13回：試合運営(審判法、試合の模擬運営) 第14回：試合 第15回：昇段審査の準備及び形の講習 定期試験  <b>【履修上の注意事項】</b> 怪我に十分に注意する。				法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉 演習
<b>テキスト</b> 必要に応じて配布する。				25年度以前 共通科目
<b>参考書・参考資料等</b> 嘉納行光・醍醐敏郎著『柔道大辞典』 小俣幸嗣・尾形敬史著『詳解柔道のルールと審判法』				
<b>学生に対する評価</b> 授業時において毎回の実技テストとレポート提出により評価する。また、出席状況および受講態度を評価に加味する。				